

政策調整インストルメント（PCI）

政策調整インストルメント（PCI）は、すべてのIMF加盟国が利用できる非融資支援制度です。PCIは、IMFと加盟国の間でのより緊密な対話と、IMFによる政策の是認を実現するもので、それによって加盟国の改革に対する強い意志表示と他の資金源からの資金調達を促します。

[PDFをダウンロードする](#)

目的

PCIは、各国が改革アジェンダへのコミットメントを実証し、他の資金源からの資金調達を促すことを支援するように設計された高次クレジット・トランシュ（UCT）の非融資支援制度です。

PCIは加盟国を以下の方法で支援します。

- (i) 危機を防ぎ外的ショックに対するバッファを構築する
- (ii) マクロ経済の安定性を強化する
- (iii) マクロ経済上の不均衡に対処するマクロ経済政策を設計・導入する。経済改革アジェンダへのコミットメントを示す。（地域レベルの金融取極を含む）公的債権者や、民間部門からの資金調達を促す。

適格国

PCI承認の時点で現在または将来の国際収支上のニーズをカバーするために一般資金勘定（GRA）もしくは貧困削減・成長トラスト（PRGT）の下でIMFが

ら融資を受ける必要がなく、GRA や PRGT、[強靱性・持続可能性トラスト \(RST\)](#) の下で IMF に対する未履行の金融債務がないすべての加盟国。

コンディショナリティ

政策は、IMF の融資取極めが支援するプログラムで適用されるものと同じ基準を満たさなければなりません。

審査方法

プログラムのパフォーマンスについて定期的なフィードバックを提供するために固定のスケジュールで、通常は 6 か月ごとに、審査を実施します。

加盟国当局が期日を過ぎた政策を実施したり、是正措置を講じたり、資金ギャップを埋めるために必要な資金調達を行ったりできるように、審査完了を 3 か月遅らせることができます。遅延がその 3 か月の猶予期間を超えた場合には審査を完了することができなくなり、IMF 職員が [IMF 理事会](#) に対して中間パフォーマンスを報告します。

ただ、加盟国が PCI から新たな IMF 取極めに移行する際は、特定の状況において、3 か月のバッファー以降も追加で 30 日間の猶予期間を設けて審査を完了することができます。

半年ごとの審査を行う PCI の場合、15 か月間にわたり審査が完了しなかった場合（PCI の理事会承認時または最後に完了した審査の下での次回審査日から算出）、PCI は自動的に終了します。審査がより頻繁に行われる PCI プログラ

		<p>ムの場合、自動終了期間は比例して短縮されます(12 か月未満になることはありません)。</p> <p>PCI では、プログラム目標のモニタリングに審査ベースのアプローチをとっているため、未達だった目標について免除を求める必要がありません。</p>
融資制度との併用		<p>PCI が順調に進捗していれば、加盟国が国際収支上のニーズに直面した場合に IMF の資源に迅速にアクセスしやすくなります。利用に際しては IMF 資源を利用する際の通常の方針を適用します。PCI は、迅速融資ツール (RFI) や 迅速与信制度 (RCF) に基づく緊急融資や、スタンバイ取極 (SBA)、スタンバイ与信制度 (SCF)、強靱性・持続可能性制度 (RSF) に基づく取極めと同時に利用することができます。PCI は、その他の金融取極めと同時に使用することはできません。</p>
条件	期間	<p>2～3 年ですが、最短で 6 か月、最長で 4 年の期間を承認することができます。後継の PCI の数に制限はありません。</p>
	費用	<p>PCI は、IMF の技術支援の一形態です。先進国のみ、関連管理費の支払いが必要になります。</p>